

## 国が判決後方針示す。国は原告らに謝罪し、引き下げ前に戻せ!

国が 2013 年に生活保護費を大幅に引下げたことの是正を求めた裁判で、最高裁が原告勝利の画期的判決を 6 月に下して以来 5 ヶ月、国は 11 月 21 日ようやく、対応方針を発表しました。(右図参照)

内容は、次のとおりです。

- ①一律 4.78%の減額を取消し、代わりに 2.49%の**新たな減額**の基準をつくる。
- ②全ての生活保護利用者に、2013 年の引下げと 2.49%減額との差額を支給する(1 世帯当たり約 10 万円?)。
- ③原告(約 700 人)には、別に特別給付金を上乗せする(約 10 万円?)。
- ④亡くなった生活保護利用者には支

### 最高裁判決と判決後の国の方針

2013年実施	2013年内訳	最高裁判決	国の新方針
最大10%減額 平均6.5%減額 670億円減額	デフレ調整 580億円減額 ゆがみ調整 90億円減額	違法 違法とせず	2013年の4.78%減額を <b>2.49%減額</b> に変更 従来どおり減額
国家賠償		認めず	認めず

給しない。

最高裁で負けた国が保護費を**更に減額**することは認められません。判決後に、国が補償額を値切るために組織した専門委員会の委員からも「紛争の蒸し返し」になり、利用者にさらに負担を強いるとして、基準の再改定を批判していました。

国は原告らに謝罪し、利用者を区別せず全利用者に引き下げ前との差額の全額補償をすべきです。



## 「男女差の要因の一つは、所得差」 これも正さなければ

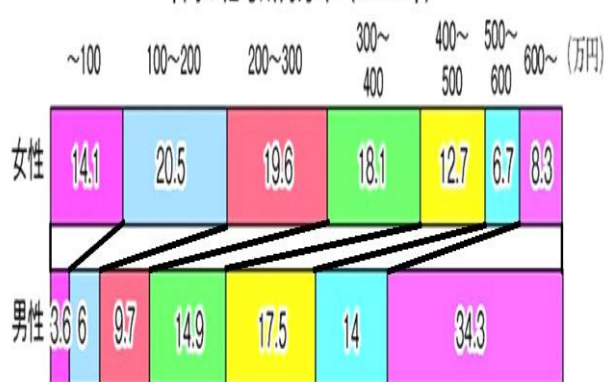
右図を見て、改めて驚きました。

男性で年金生活者である筆者は、少ない年金をなげき、怒り、年金者組合員として改善を求めています。私より少ない所得の女性が多いことに改めて怒りを覚えます。

図を見ると、女性の賃金の低さも読み取れます。「同一労働同一賃金」が原則と言いますが、企業が、職種や部署を決めてしまうことがほとんどです。はやり「総合職」は労働時間が管理されることが多く、労働者の権利もないがしろにされがちです。

高額所得者の女性が少ないのも、大きな課題です。所得の男女差をなくすべきです。

年間の給与所得分布 (2023年)



国税庁「民間給与実態統計調査」から竹信さん作成

本号、百号です。



小倉生健会  
**生活と健康を守る**  
一人はみんなのために、みんなは一人のために

えっふん

## 高市首相は「存立危機事態」発言の本音を考え直せ

### 危機を煽られる国民

高市首相の「存立危機事態」発言で、日中の緊張が高まっているとの報道が盛んです。訪日の規制、「首相の首を切る」発言、中国の局長が両手をポケットに入れて対応・・・等々エスカレートしています。

テレビや新聞などでこのような報道が繰り返され「中国はけしからん」と、国民の中で“一戦を交えてでも”、との「戦争機運」があおられている気がします。日露戦争も、日中戦争も、太平洋戦争も「戦争機運」があおられ、一定の国民が戦争を後押しした歴史があります。

### 戦争(有事)になれば

台湾有事を日本有事ととらえ中国を攻撃した後に国民生活がどうなるかの報道は少数です。

日本有事として中国を攻撃することは、日本が中国を相手に戦争を始めるということです。

戦場になった日本を想像して下さい。ガザやウクライナと同じように国民の命や財産が奪われ交通事故や傷害事件どころではありません。

電気がつかない、スマホが使えない、スーパーに物がないうちの日常は根底から覆ります。また、TOTO や安川電機など中国に工場を

置く企業だけでなく、日本の製造業の多くは、部品や原材料を中国に依存しています。

海産物などの輸出や、衣類や日用雑貨、100 円ショップの商品をはじめ、野菜、冷凍食品、加工食品が入ってこないなど大きな影響が広がります。

食糧だけでなく、石油や天然ガス供給の大動脈が切断され、エネルギーにも大きな影響がでます。円安が急速にすすみ、超々物価高も容易に予想されます。戦争を始めれば収束は困難です。首相や首相発言を称賛している人は、そんなことを想定して発言しているのでしょうか。

### 戦争しないことが「政治の目的」

高市発言は、一見、勇ましく頼もしいリーダーの発言に聞こえるかもしれませんが、日本国憲法が禁止している「**政府の行為によって、再び戦争の惨禍を起こさない**」に違反します。

先日亡くなった仲代達矢さんは「真の抑止力は、戦争を起こさないための徹底的な話し合い、外交です。どんなに**困難でもそれしかない**」と言い切っています。多くの台湾の人たちもそのことを強く求めています。



## 「会報」への、激励の声の一部を紹介します。 皆さん、ありがとうございます

(会報)有難うございました。一気に読みました。

(全生連が訴えた 1000 万円募金) 1/1000 人になります。1 万円します。(八幡西区 M さん)

毎月(会報)ありがとうございます。

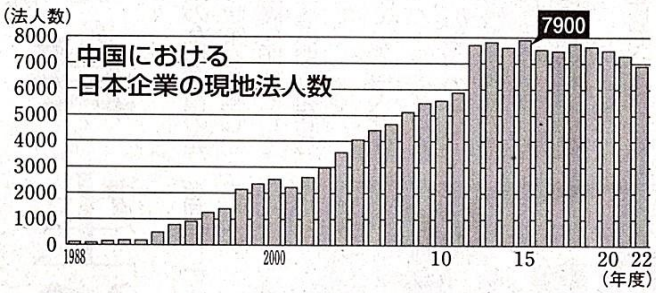
興味深く読んでおります。国会中継を見ていましたが、首相、厚労大臣も生活保護の見直しには消極的と感じられました。生活、いや生きること自体が大変な状況なのに、もう少しスピード感を持って取り組むべきですね。頑張ってください。(大阪 O さん)

生健会の会報、ありがとうございます。

NHK の「ばけばけ」の主題歌「笑ったり転んだり」の歌詞、「♪日に日に世界が悪くなる 気のせいかな そうじゃない」。(今の日本は)そのままの様な状況です。でも歌詞の最後は「♪落ち込まないで 諦めないで 君の隣を歩くから 今夜も散歩しましょうか」です。「落ち込まないで 諦めないで」一緒に歩きましょう。(岡垣町 Y さん)



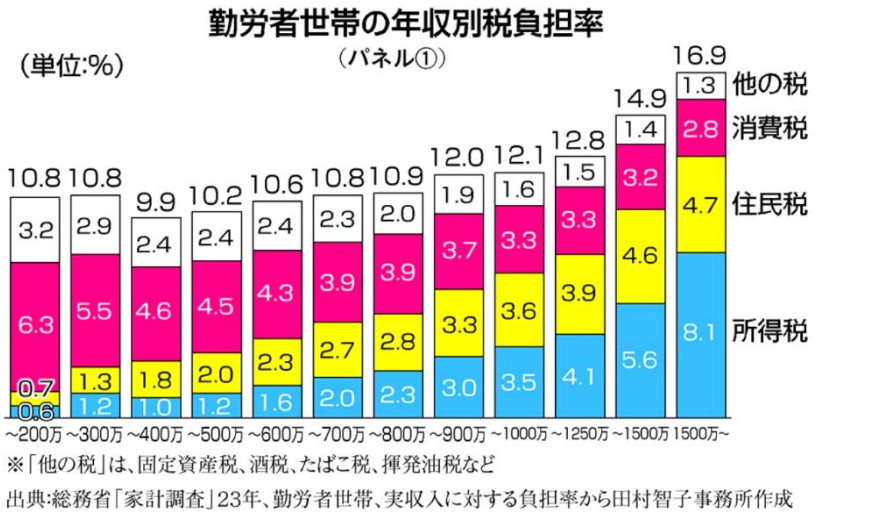
なるほど・・・  
グラフにすると分  
かいやすい



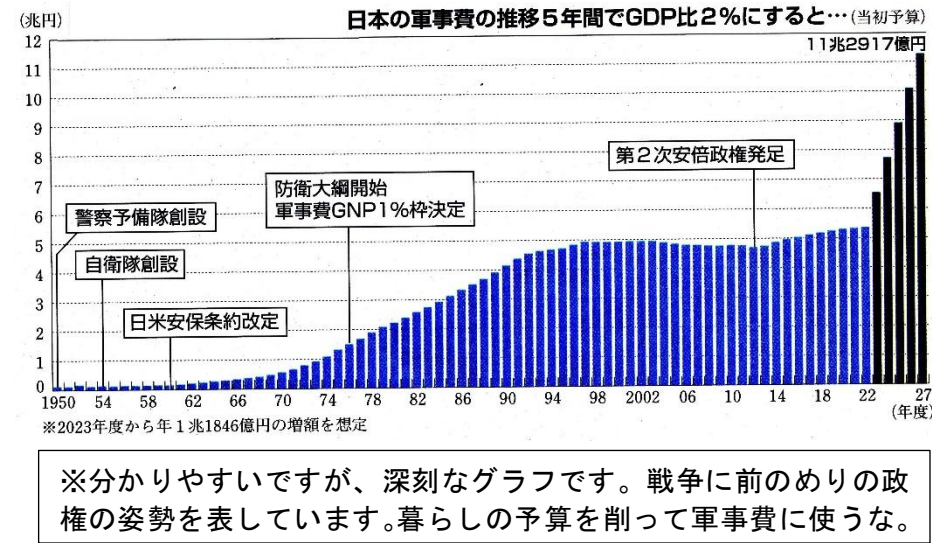
※1面に記載した記事のように、日中関係の緊張が高まっています。高市首相は「存立危機事態」を口実に武力行使すれば、中国に進出している約8000社の企業の財産や10万人の在中邦人の安全がどうなるかについて考えているのでしょうか。



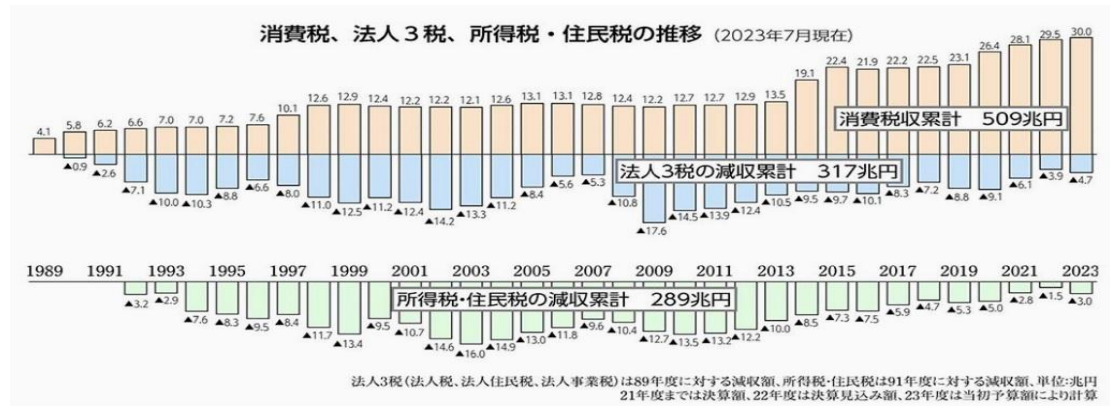
※西日本新聞に掲載された「一コマ漫画」です。重い問題を笑い飛ばす痛快な作品です。



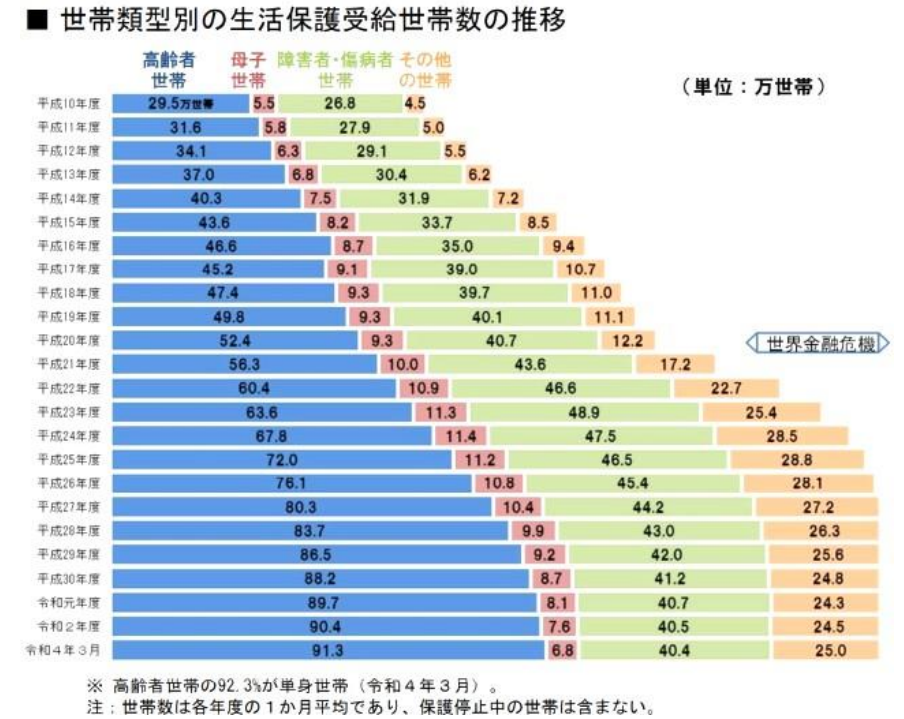
※覚えておこう。所得が少ない人ほど、消費税の負担率が大きいことを。「消費税は公平な税制度だ」はウソだ。



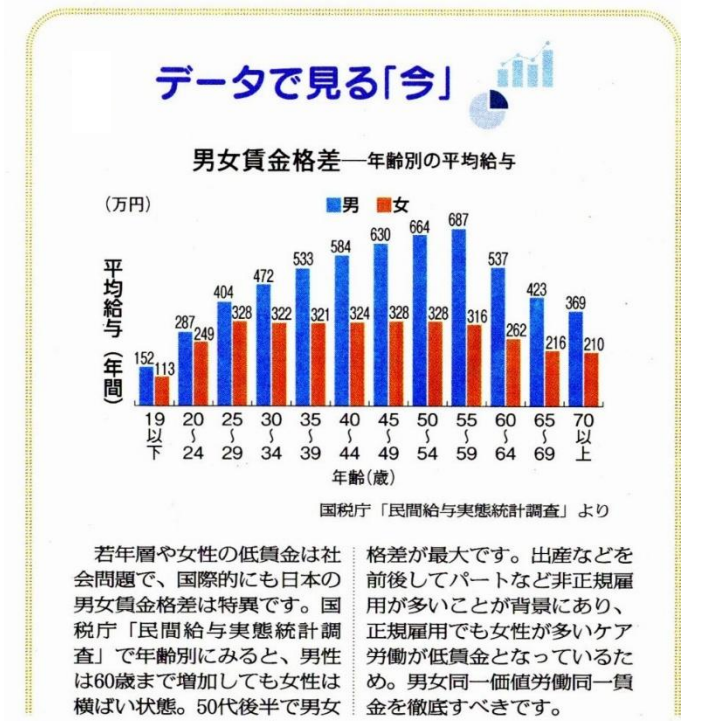
※分かりやすいですが、深刻なグラフです。戦争に前のめりの政権の姿勢を表しています。暮らしの予算を削って軍事費に使うな。



※有名なグラフです。消費税の総額 509 兆円は、所得税・法人税の減税総額の合計 606 兆円にほぼ等しい。消費税は誰のため？ 社会保障のためではない。



※ひどい政治のもとで、生活保護利用者が増えています。高齢者の利用者が半数以上に。母子世帯の利用者が少なすぎるのも問題です。世界金融危機(リーマンショック)以降「その他」の利用者が激増しています。



※1面の男女差の記事のグラフを、別の方向から見たものです。賃金差が年金差に。